

「北海道農業の潜在能力のフル発揮への挑戦」に関する決議（案）

世界的な食料需給のひっ迫による食料安全保障への懸念が高まる一方で、肥料・飼料等生産資材コストの高騰と世界的な不況による需要の停滞や十分な価格転嫁が図られないことにより、主業的な農家の経営悪化が懸念されている。

もはや経済力のみでは食料の安定輸入ができない状況にあることから、日本型食生活の健康面での優位性と食料自給率の向上について、広く国民に理解を求めていく必要がある。

J Aグループ北海道は、道内各地域の農業生産力の向上を図り、もって、わが国の食料安定供給へのさらなる貢献を果たすという使命感に立って、北海道農業が持つ潜在能力のフル発揮と持続可能な北海道農業の確立に向けて、つぎの重点目標の実現に取り組むこととする。

1. 北海道農業の潜在能力を発揮するための農業政策の実現に向けた運動の展開
2. 「食」と「農」の大切さを発信する活動の展開
3. 農業所得の拡大のための作目別対策の推進
4. 担い手の確保・育成と営農支援機能の強化
5. 食の安全・安心確保とバイオマス対策の推進

以上、決議する。

平成21年11月20日

第26回J A北海道大会